



CSやってみよう!

裾野市教育委員会
学校教育課
令和4年5月2日

いよいよ、コミュニティ・スクール ★ スタート!

裾野市では、本年度より市内全ての小・中学校に「学校運営協議会」を設置し、子どもたちの豊かな成長のために、地域と学校が力を活かし合う“コミュニティ・スクール”をスタートします。学校運営協議会では、学校運営の基本方針を共有し、学校や子どもたちに必要な支援について意見を出し合い、これまで以上に地域と学校が連携・協働し合い、地域ぐるみで子どもを育てる「地域とともにある“楽しい学校”づくり」を目指していきます。



西中学校運営協議会の様子

学校運営協議会をのぞくと…

いくつかの学校運営協議会に参加させていただきました。どの協議会も、子どもたちや学校のために…という視点に立った前向きな意見が出されていました。地域から選ばれた委員のみなさんは様々な立場や経験をされている方なので、保護者、企業、自営業、元PTA役員、元区長など、それぞれの目線から、子どもや学校、社会について日頃から感じている思いを語られていました。

委員のみなさんから出された意見の一部を紹介します。

- ・日本の子どもは自己肯定感が低いと言われるが、まずは、自分のことをちょっと好きになってほしい。
- ・地域の方にもっと学校のことを知ってもらいたい。区長さんたちの授業参観をやってみてはどうか。
- ・会社でこれまで多くの若者を見てきたが、感性豊かな人は、挫折しない。感性を育てていきたい。
- ・これからは多様性の時代。子どものときに、たくさんの大人と出会い、関わる体験が必要だと感じる。

第1回CS研修会を開催しました。

4月12日に、学校運営協議会委員、CSディレクター、スクールコーディネーター、教職員を対象に研修会を行いました。コミュニティ・スクールの概要を説明した後、先行導入校のCSディレクターによる取組事例の発表を行いました。



【参加者からの声】

- ・先行導入校の取組紹介が参考になりました。無理なく、学校の状況に合わせて活動できたらと思います。
- ・子どもたちのため、地域のために、いろいろな知恵を出し合って活動に取り組んでいきたいと思います。
- ・画一的でない、その学校や地域ならではのCSの形、「学校の力を地域へ」という言葉が印象的でした。
- ・活動を一つの学校のものにせず、市の外に発信し、裾野市のよさを広げていってほしいと思います。
- ・各地域の特性を生かし、子どもたちに寄り添う報告に感動しました。地域に見守られている子どもたちは幸せです。いろいろと苦労もあると思いますが、それが地域の方々の連携になっているのではないのでしょうか。
- ・学校は、子どもの力を地域へ広げる活動を考えていかなければならないと認識ができた。CSディレクターや学校運営協議会委員の方々の力を借りて、学校や地域を盛り上げて、子どもたちを成長させていきたい。
- ・地域に生まれ育った子どもたちが、将来地域に戻ったときにどのような地域にしていきたいのか、大人だけでなく子どもたち自身が考えることも具現化できればよいと思いました。

★CSに関する情報を、市役所のホームページや広報すその5月号、啓発リーフレットでも発信しています!